

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	国語B	担当教員	中島泰貴		
学年学科	1年 全学科	通年	必修	2単位	
学習・教育目標	(A-1) 100%				
授業の目標と期待される効果： 多種多様な歴史観や文化観を理解し、また尊重していくために、その前提として自らが属している社会・文化に関する歴史的かつ基本的な知を、日本古典文学の学習を通じて獲得する。 ①歴史的仮名遣いを身につける。 ②古典文法の基本を身につける。 ③基本的な古典語彙を理解する。 ④古典文学の歴史的な背景を理解する。 ⑤伝統的文化への関心を深める。		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋課題・小テスト 100 点（換算） 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋課題・小テスト 100 点（換算） 学年：前・後期の重みを等しくして合計した上で、総得点率（％）で成績をつける。 達成度評価の基準： 教科書、および教科書準拠学習課題集の練習問題と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。具体的には、以下の項目について同程度の比率で評価する。 ①古文を正しく読むことができるか。 ②各回の新出単語は理解しているか。 ③各回の新出文法は理解しているか。 ④各回に取り上げた作品の内容を正しく理解できているか。 ⑤作品の成立背景や作品周辺への知は身に付いているか。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は教科書と板書を中心に行う。各自学習ノートを充実させ、授業の予習・復習を怠らないこと。					
教科書および参考書： 高等学校国語総合古典編（三省堂 2013 年） 辞書等					
授業の概要と予定：前期					ALのレベル
第 1 回：古文入門 1					
第 2 回：古文入門 2					
第 3 回：古文入門 3					C
第 4 回：随筆 1 徒然草					C
第 5 回：随筆 2 徒然草					B
第 6 回：随筆 3 徒然草					C
第 7 回：随筆 4 徒然草					C
第 8 回：中間試験					
第 9 回：物語 1 竹取物語					C
第 10 回：物語 2 竹取物語					C
第 11 回：物語 3 竹取物語					C
第 12 回：物語 4 竹取物語					B
第 13 回：物語 5 竹取物語					C
第 14 回：物語 6 竹取物語					C
期末試験					
第 15 回：物語 7 伊勢物語					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：物語8 伊勢物語	C
第17回：軍記1 平家物語	C
第18回：軍記2 平家物語	C
第19回：軍記3 平家物語	C
第20回：軍記4 平家物語	B
第21回：軍記5 平家物語	C
第22回：軍記6 平家物語	C
第23回：中間試験	
第24回：日記1 土佐日記	C
第25回：日記2 土佐日記	C
第26回：和歌と俳諧1 奥の細道	C
第27回：和歌と俳諧2 奥の細道	B
第28回：和歌と俳諧3 奥の細道	C
第29回：和歌と俳諧4 奥の細道	C
期末試験	
第30回：総まとめ（期末試験解答解説など）	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	古文をほぼ正確（8割以上）に読むことができる。	古文をほぼ正確（6割以上）に読むことができる。	古文を正確に読むことができない。
②	各回の新出単語に関する問題をほぼ正確（8割以上）に解くことができる。	各回の新出単語に関する問題をほぼ正確（6割以上）に解くことができる。	各回の新出単語に関する問題を正確に解くことができない。
③	各回の新出文法に関する問題をほぼ正確（8割以上）に解くことができる。	各回の新出文法に関する問題をほぼ正確（6割以上）に解くことができる。	各回の新出文法に関する問題を正確に解くことができない。
④	各回に取り上げた作品の内容に関する問題をほぼ正確（8割以上）に解くことができる。	各回に取り上げた作品の内容に関する問題をほぼ正確（6割以上）に解くことができる。	各回に取り上げた作品の内容に関する問題を正確に解くことができない。
⑤	作品の成立背景や作品周辺の知に関する問題をほぼ正確（8割以上）に解くことができる。	作品の成立背景や作品周辺の知に関する問題をほぼ正確（6割以上）に解くことができる。	作品の成立背景や作品周辺の知に関する問題を正確に解くことができない。